

射水市地域公共交通計画（令和7年度～令和11年度）の進捗について

基本方針に基づく目標	指 標		【参考】 令和 6 年度 (2024年度)		令和 7 年度 (2025年度)		【目標値】 令和11年度 (2029年度)	主な取組状況
1 利便性の向上により、人口減少社会においても公共交通の利用率を増やすことによって公共交通の利用者数の維持	鉄軌道	あいの風とやま鉄道	1,573千人	(合計) 2,663千人	1,559千人	(合計) 2,779千人	2,610千人	令和7年4月1日ダイヤ改正 ・コミュニティバスの運行内容見直し →鉄軌道等との接続改善 →民間路線バスとの重複部分休止 →民間路線バス廃止に伴う再編 等 ・「のるーと」北東エリア本格運行開始 令和7年9月1日ダイヤ改正 ・コミュニティバスの運行内容見直し →「のるーと」への移行に伴う再編 ・デマンドタクシー運行終了（R7.8.31） →「のるーと」への移行 ・「のるーと」南西・北西エリア実証運行開始 ・「べいぐるん」と「のるーと」のシステム等統合 等
		万葉線	1,090千人		1,220千人			
	コミュニティバス、デマンド交通等	コミュニティバス	277.7千人	(合計) 397千人	243.7千人	(合計) 390千人	400千人	
		のるーと射水	105.1千人		141.4千人			
		デマンドタクシー	8.5千人		3.0千人			
		べいぐるん	5.6千人		2.0千人 (R7.4～R7.8)			
2 交通DX等による公共交通の再編により、人件費高騰等を除く市運行公共交通の収支差額の維持及び収支率の改善	収支差額（運行経費－運賃収入）		307,064千円		358,091千円		324,100千円	同上
	収支率（運賃収入÷運行経費）		13.3%		11.3%		12.2%以上	
3 きめ細やかな運行により、公共交通全体の人口カバー率の向上	人口カバー率 (駅半径800m、バス停半径300をカバー圏域として算出)		95.40%		算出中 ※ R7.4ダイヤ改正でバス停を16か所新設しており、人口カバー率は向上を見込んでいる。		96.0%	令和7年4月1日ダイヤ改正 ・「のるーと」北東エリア本格運行開始に伴い、バス停の新設・移設等を実施